

問 13 次の文章は、配電線路に用いられる電気方式に関する記述である。

単相 2 線式は、変圧器の低圧巻線の両端から 2 本の線で 1 種類の電圧を供給できる方式であり、一般住宅や商店などに配電するのに用いられる。それに対し、単相 3 線式は、変圧器の低圧巻線の両端と中点から 3 本の線で 2 種類の電圧を供給できる方式であり、一般に、単相 2 線式に比べ、線路の電圧降下や電力損失が (ア)。

単相 3 線式の特徴として、中性線と各電圧線の間に接続する各負荷の容量が不平衡であると、平衡している場合に比べて電力損失が増加する。また、各負荷の容量が不平衡な状態で中性線が切断されると、容量が小さい側の負荷にかかる電圧が (イ) なるため、これらの対策として、線路末端にバランサを負荷と (ウ) に接続する。

上記の記述中の空白箇所(ア)～(ウ)に当てはまる組合せとして、正しいものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。

	(ア)	(イ)	(ウ)
(1)	小さい	低く	直列
(2)	小さい	高く	並列
(3)	大きい	高く	直列
(4)	大きい	低く	並列
(5)	小さい	低く	並列